

学校だより

令和8年度 10月号

共に学び
明日が楽しみになる学校

しもこ

川崎市立下小田中小学校

「挑戦」～みんなでつくる運動会～

こうちょう あんざい ようこ
校長 安齋 陽子

いよいよ運動会の練習が始まりました。体育館から、各学年の元気なかけ声が聞こえてきます。前期が終わり、後期が始まる10月となります。前期のまとめをしっかり行い、頑張ったことを大切にしながら後期に向けて準備をしていきたいと思ひます。ぜひ、お子さんと「のびゆく姿」を見ながら前期を振り返り、結果だけではなく過程にも目を向け、後期への意欲につながる励ましの言葉をかけてあげてください。

そして今年、運動会の形を変えます。コロナ禍以降、本校では、子どもたちの安全や感染症対策を第一に考え、二学年ずつ校庭に出て競技する形で実施してきました。今年度は、これまでの経験を踏まえつつ、実施方法を見直し、全学年の子どもたちが校庭に出て、一堂に会する運動会を行います。久しぶりに全校児童が同じ空の下に集う運動会。上級生の姿を見てあこがれる下級生がいるでしょう。下級生の奮闘に励まされる上級生もいるはずです。これまでとは、また違った新しい経験や学びが生まれることを期待しています。

今回、大切にしたいことが2つあります。1つ目は「一人一人の挑戦」です。運動が得意な子もいれば、苦手な子もいます。走ることに力を発揮する子、表現することを楽しむ子、友達と力を合わせることを頑張る子、係の仕事に責任をもって取り組む子、大勢の人たちが苦手でも参加しようとする子。それぞれの子どもに、それぞれの目標があります。みんなと同じ目標ではなく、一人一人が自分なりの目標をもち、自分で決めたことに挑戦することを大切にしたいと考えています。誰かに決められた目標ではなく、「自分はこうしたい」と自分で考え、自分で決める。そして、その目標に向かって一歩を踏み出し、その一歩を仲間と共に支え合ってほしいと思います。「去年より速く走りたい」「最後まであきらめずにやりたい」「友達と声を掛け合いたい」「低学年のお手本になりたい」どれも、その子にとって大切な挑戦です。2つ目は、子どもたちが「自分たちの運動会を自分たちでつくる」という意識です。競技や演技だけでなく、応援、係活動、準備、片付けなど、運動会には多くの役割があります。自分にできることを考え、友達と互いに声を掛け合いながら一つの行事をつくり上げていく。その経験を通して、協力する素晴らしさや、力を合わせて取り組むことの大切さを学んでほしいと思います。

運動会当日、子どもたちが見せる姿は、一人一人違うことでしょう。その違いを認め合いながら、自分の目標に向かって挑戦する。そして、仲間と協力しながら、みんなで運動会をつくり上げる。そんな一日になることを願っています。

例年とは変更点もあり、ご不便をおかけすることもあるかもしれませんが、教職員にとっても「挑戦」の一日となります。どうか、温かく見守っていただければ幸いです。そして、保護者や地域の皆様も、この運動会をつくる一人です。一緒に、盛り上がり、大きな声援と拍手をお願いいたします。